

2013/6/4  
牧（京大）

#### 第4回巨大災害の軽減と回復力の強いまちづくり特別調査委員会

日時：2013年6月3日（月） 17:00～19:30

場所：建築学会会議室 304 号室

出席者：福和、菊地、田辺、佐土原、久田、塩原、有賀、村上、中島、牧（敬称略）

配布資料：

4-1 議事次第・議事録

4-2 過大外力 2013（塩原）

4-3 長周期WG刊行企画書（久田）

4-4 130603 エネ需給再考WG資料（田辺）

4-5-1 津波④（有賀）

4-5-2 28日午後第二次提言（有賀）

4-6 総合研究協議会「東日本大震災から2.5年ー建築学会の取り組みとこれからー」

議事内容

1. 今後の活動について（「議事録確認」の中で）

- ・下期に各WGでミニシンポを実施した上で、全体のWGによるシンポジウムを実施、年度末までに報告書
- ・出版ならびに委員会の期間延長について
  - ー本委員会（環境、構造）で出版するののかについて検討を行った結果、当委員会で出版することに決定する。
  - ー出版（久田、田辺）＜叢書ではない、委託出版＞のために必要であれば活動期間を1年延長することも検討を行い、活動期間を1年延長することとした。
  - ー出版に関わる内部査読は当委員会で実施する。
  - ー刊行企画書（久田、田辺）の内容について委員会として承認した。委員会で出たコメントを含めた最終企画書についてメールで最終確認することとする。

2. 最終報告会について（東日本大震災2周年シンポジウム（3月28日）を踏まえて）

学会が東日本大震災3周年記念事業を実施する場合には、これとあわせて開催を行うことを検討する。半日程度（各WGの報告、パネルディスカッション）を行う。

3. 北海道大会での研究集会について

- ・ 討論「巨大災害の軽減と回復力の強いまちづくり」（本 WG 担当）では、第二次提言後の活動を踏まえ今後の活動についてパネルディスカッションを行う。
- ・ 討論「巨大災害の軽減と回復力の強いまちづくり」（本 WG 担当）の配布資料は、PPT2 枚、上下 2 段印刷、発表各 5 分とする。
- ・ 全体の研究集会の進行（資料 4-6 参照）
  - － 提言についてはポイントをスライド 1 枚で説明、WG メンバーと河田・室崎先生と 20 分程度コメント・ディスカッション。
- ・ 河田先生、室崎先生が終了後、大会懇親会に参加されるか当日確認する。（担当：河田先生：牧、室崎先生：加藤）

#### 4. 5 つの小委員会の活動状況（秋以降のミニ WS も含めて）

- ① 過大外力に対する建築と都市の性能（塩原）＜資料：4-2 参照＞
  - ・ どうやって強くつくりたくない人に、強くつくってもらうのかについて検討を行うのが学会の役割（自己責任の原則等）→具体的な方策（アクションプラン）については、今後検討していく。
  - ・ 今後、「技術者の設計説明指針」のような事を考えてみたい。
- ② 長周期地震動対策と建築物即時被災度評価（久田）＜資料：4-3 参照＞
  - ・ 最終成果を「地震の際、逃げないですむ家とまちをつくる」（仮）（9 月執筆開始、来年度中刊行）として出版する。
  - ・ 最終報告書では出版物の内容に加えて「長周期地震動等への対策と建築・エリアの即時対応」というタイトルに即した活動成果も含むようにして欲しい。
- ③ 建築・地域・都市におけるエネルギー需給の再考（田辺・村上）＜資料：4-4 参照＞
  - ・ 報告書の内容の興味深いところをピックアップして出版（来年度以降）する方向で検討。
  - ・ 「第 II 編（仮）建築・地域・都市における環境・設備の再考」の内容についてミニ WS を開催することを検討。
- ④ 復興と予防に資する減災都市設計・計画（有賀）＜資料：4-5-1、4-5-2＞
  - ・ 秋にワークショップ（「復興まちづくりについて 2.5-3 年の検証」）を実施する方向で検討。
  - ・ 報告書では復興まちづくりにおける事例、課題についてとりまとめ。
  - ・ 建築学会・都市計画学会・都市計画家協会との間で、出版については検討を行う必要がある。
- ⑤ 巨大災害時の住の確保と生活再建（大月）

#### 5. 秋の連続 WS

- ・ 秋に各 WG でワークショップを開催し、会員からの意見を聞き取る機会を持ちたい。
- ・ 各委員会でミニシンポジウムの内容について詰めていただきたい。

## 6. 最終報告書

- ・主査、幹事で最終報告書の構成案について検討し、次回委員会に報告。
- ・概要：各 WG2 ページ＋報告：各 WG40－50 ページ＋付録：第二次提言、全体 200 ページ程度＋学会大会討論＋ミニシンポ資料
- ・学会大会討論のテープ起こしを依頼し、報告書に掲載する。写真もとる。

## 7. 次回委員会

- ・7月22日（月）午5時30分－7時（午後4時－7時：提言部会）で調整
  - －北大大会の討論の資料をもとに、当日のディスカッションについて検討
  - －ミニシンポの内容について検討

<前田先生、岩佐先生にもスカイプなどで参加していただく>